3-868-147-**03** (1)

メモリースティック ICレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICD-MS1

はじめに

本機はIC記録メディア“メモリースティック”に声のメモや会議などを録音できるICレコーダーです。“メモリースティック”は着脱可能なリムーバブルメディアなので、録音済みの“メモリースティック”をICレコーダーから抜いてパソコンに差し込めば、手軽にパソコンに音声データを取り込むことができます。
パソコンに音声データを取り込むには、付属のアプリケーションソフトウェア「Memory Stick Voice Editor」をパソコンにインストールしてください。使いかたについて詳しくは、別冊の「Memory Stick Voice Editor取扱説明書」をご覧ください。

ご注意
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ICレコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

警告 安全のために

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。
- 安全のための注意事項を守る
- 故障したら使わない
- 万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

接触禁止

目次

⚠警告 ・⚠注意 4
ICレコーダーでの録音について 7
“メモリースティック”について 8
本機の主な特長 10
準備1: 乾電池を入れる 11
準備2: 時計を合わせる 12
準備3: “メモリースティック”を入れる 13
用件を録音する 14
録音した用件を聞く 17
録音した用件を消去する 20

いろいろな再生のしかた

再生スピードを調節する 22
用件の頭だけをひと通り再生する
（スキャン再生）................................. 22
繰り返し再生する
（1件リピート・ A-Bリピート）.......... 23

用件の編集

録音済みの用件に追加または
上書き録音をする 24
用件をふたつに分ける／つなげる
（インデックス追加／削除）................ 25
フォルダを追加／削除する 27
用件を別のフォルダに移動する 28
用件に優先順位をつけて並べ替える
（重要マーク）.................................... 29
フォルダや用件に名前を付ける
（フォルダタイトル／用件タイトル）.. 30

その他の機能

希望の時刻に再生を始める
（アラーム再生）................................. 34
誤操作を防止する（ホールド機能）........... 36
画面表示モードを切り換える 37
“メモリースティック”を初期化する 38

設定を変える

録音モードを切り換える 39
ピッという確認音を切る 39
フォルダ内の用件を続けて再生する
（連続再生）.. 40
日本語表示と英語表示を切り換える 40

接続と電源

外部マイクや他の機器から録音する 41
家庭用電源につないで使う 41

その他

使用上のご注意 42
故障かな？と思ったら 43
こんなときは 43
システム上の制約 45
エラー表示一覧 46
保証書とアフターサービス 48
主な仕様 48
各部のなまえ 49
メニュー一覧 50
索引 51

画面表示について

本機には日本語表示と英語表示の2つの画面表示が用意されています。本機の画面表示の説明では、イラストは日本語表示のみ、文中では「日本語表示（英語表示）」のように説明しています。

例：「録音（RECORDING）」

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分ご注意ください。

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電池またはACパワーアダプターを抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。
とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

国内専用機は海外で使用しない

ワールドモデル以外のACパワーアダプターは、日本国内専用です。
交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

指定以外のACパワーアダプター、コードなどを使わない

破裂・液漏れや、過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

⚠注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにイヤホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音がでて耳を痛めることがあります。

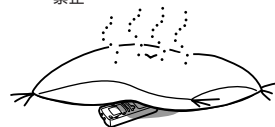
ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。

通電中のACパワーアダプターに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠注意

- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

ICレコーダーでの録音について

ICレコーダーでは、簡単な操作で、声のメモや会議の内容などの録音や再生が手軽にできます。

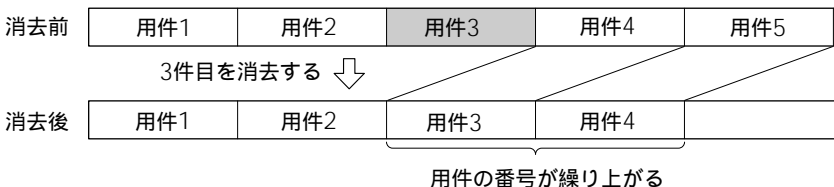
録音

ICレコーダーでは、新しく用件を録音すると、自動的にメモリーの最後尾に記録されます。このため、テープレコーダーのように、他の用件の上から録音してしまう失敗がありません。
さらに、テープレコーダーと異なり、録音を始めるところまで早送りや巻き戻しをする必要がないので、必要なときにすぐ録音を始められ、大変便利です。

再生

テープレコーダーのように巻き戻しをする必要がないので、今録音したばかりの用件をすぐに聞くことができます。また、聞きたい用件を簡単に探して聞くことができます。

消去

不要な用件は、簡単に消すことができます。
途中の用件を消すと、次の用件が自動的に繰り上がるので、テープのようにブランクができません。

“ メモリースティック ”について

“ メモリースティック ”とは？

“ メモリースティック ”は、小さくて軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。“ メモリースティック ”対応機器間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアのひとつとしてデータの保存にもお使いいただけます。
1枚の“ メモリースティック ”に、本機で録音した音声データを記録するだけでなく、他の機器で画像データなどを記録してお使い頂くことも可能です。

本機で使える“ メモリースティック ”の種類

付属の16MBの“ メモリースティック ”では容量が足りないときは、市販の“ メモリースティック ”を本機に差し込んで同じようにお使いになれます。
なお、“ メモリースティック ”の種類により、最大録音可能時間が異なります（下表参照）。
本機では、“ マジックゲート メモリースティック ”と一般の“ メモリースティック ”のどちらもご使用いただけます。

ご注意
マジックゲートは、暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。本機はマジックゲート規格に対応していないため、本機で記録したデータはマジックゲートによる著作権の保護の対象にはなりません。

1枚の“ メモリースティック ”に録音できる時間の目安*

録音可能時間は、使用条件により異なります。
詳しくは45ページ「システム上の制約」をご覧ください。

録音モード／容量	4ＭＢ	8MB	16MB	32MB	64MB
SPモード	約15分	約31分	約63分	約129分	約259分
LPモード	約31分	約65分	約131分	約267分	約537分

* 各“ メモリースティック ”をICD-MS1用としてのみ使用、初期状態（3フォルダ）で連続録音した場合

本機での音声の記録方式

本機は、録音した音声データを「メモリースティックVOICEフォーマット（msv形式）」で圧縮／記録しています。ファイル拡張子は「.msv」です。
また、音声ファイルは、用件の順番などの情報を管理する専用の「メッセージリストファイル(msfファイル)」とともに、「VOICEフォルダ」として、“ メモリースティック ”に保存されます。
付属のアプリケーションソフトウェア「Memory Stick Voice Editor」を使えば、“ メモリースティック ”に記録した用件をパソコン上で再生・編集することもできます。詳しくは別冊の「Memory Stick Voice Editor取扱説明書」をご覧ください。

ご注意
“ メモリースティック ”をパソコンに差し込むと、“ メモリースティック ”のドライブの中身をWindowsのエクスプローラなどで表示することはできますが、用件をパソコン上で再生・編集するときは、必ず付属のアプリケーションソフトウェア「Memory Stick Voice Editor」をお使いください。

“ メモリースティック ”ご使用にあたって

使用上のご注意

以下の場合、データが破壊されることがあります。
- 読み込み中や書き込み中に“ メモリースティック ”を抜いたり、乾電池や ACパワーアダプターを抜いた場合。
- 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合。

大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。

“ メモリースティック ”のフォーマット（初期化）について

“ メモリースティック ”は、標準フォーマットとして専用のFATフォーマットで出荷されています。
フォーマット（初期化）が必要な場合は必ず“ メモリースティック ”専用機器で行ってください。
本機では38ページ「“ メモリースティック ”を初期化する」の方法でフォーマットしてください。

ご注意
パソコンでフォーマット（初期化）をした“ メモリースティック ”は、本機での動作を保証しません。

“Memory Stick”（“メモリースティック”）および は、ソニー株式会社の商標です。
“MagicGate Memory Stick”（“ マジックゲート メモリースティック ”）および は、ソニー株式会社の商標です。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や“ メモリースティック ”の破損、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は必ずパソコンなどにバックアップコピーを保存してください。

本機の主な特長

- **付属の“ メモリースティック ”(16MB) で連続録音最大約131分 (LPモード) / 約63分 (SPモード)、最大965件の用件の録音が可能***1)

  長時間の会議や講義なども録音できます。

- **用件を分類して保管するフォルダを最大340個*2)作成可能**

- **フォルダ名称、用件名称を入力可能 (30ページ)**

  ICレコーダー本体で文字を入力し、フォルダタイトル・用件タイトルを付けることができます。フォルダタイトルは、あらかじめ用意された「会議」などのテンプレートからの選択も可能です。さらに、付属のソフトウェア「Memory Stick Voice Editor」を使用してパソコンでタイトルを入力することもできます。

- **多彩な録音・再生・編集機能**

  一語戻し・送りもできるキュー・レビュー機能(19ページ)

  用件を再生しながら早送り・早戻し (キュー・レビュー) をして、聞きたいところを素早く探せます。始めは少し送り／戻し、さらに押し続けて高速の早送り／戻しもできます。

  上書き録音・追加録音機能(24ページ)

  録音し終わった用件に対して、用件の途中から続けて上書き録音したり、用件の後ろに続けて新たに追加して録音することができます。

  1件リピート・A-Bリピート機能(23ページ)

  １つの用件、または、用件の指定した区間を繰り返し再生することができます。

  再生スピード調節機能(22ページ)

  用件を速聞きまたは遅聞きできます。会議録音などの再生に便利です。

  アラーム再生機能(34ページ)

  設定した時間に自動的に用件を再生することができます。

  インデックス追加・削除機能(25ページ)

  用件を分割したり、ふたつの用件をひとつにつなげることができます。

  重要マーク設定機能(29ページ)

  用件の重要度に重要マークをつけることができます。用件は重要マークの数の多い順に自動的に並び替わります。

- **漢字表示もできる、見やすいバックライト付き液晶表示窓**

- **パソコン上での再生・編集ができるソフトウェア「Memory Stick Voice Editor」付属**

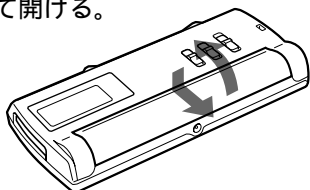
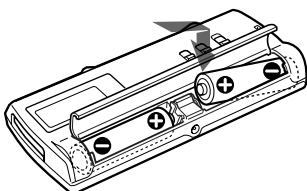
  付属のソフトウェアをパソコンにインストール*3)すれば、“ メモリースティック ”をICレコーダーから抜いて、パソコンに挿入するだけで手軽にパソコンに用件を取り込めます。詳しくは、別冊の「Memory Stick Voice Editor」の取扱説明書および、オンラインヘルプをご覧ください。

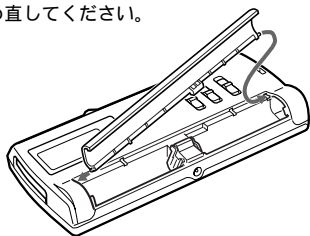
*1)16MBメモリースティックをICD-MS1用としてのみ使用、初期状態 (3フォルダ) で録音した場合。
*2)16MBメモリースティックをICD-MS1用としてのみ使用、各フォルダに用件を１件ずつ録音した場合。
*3)Windows®98/95 (日本語版) 用です。詳しい動作環境は別冊の取扱説明書参照。

準備

準備1：乾電池を入れる

ここでは乾電池での使い方を説明します。
家庭用電源（コンセント）での使い方について詳しくは、41ページをご覧ください。

1　電池ぶたを矢印の方向へずらして開ける。

2　単4形アルカリ乾電池（付属）を2本入れ、ふたを閉める。

お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま長時間お使いにならなかった後に電池を入れたときには、日付表示が点滅します。「準備2: 時計を合わせる」（次ページ）の手順4〜5をご覧になり、時計を合わせてください。

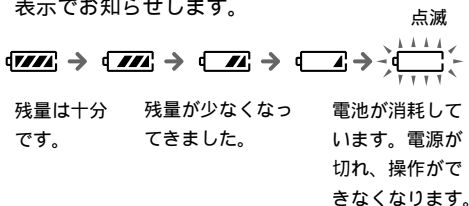
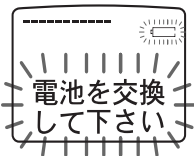
ご注意
電池ぶたは落としたり、無理な力を加えたりするとはずれることがあります。そのときは下の図のようにはめ直してください。

乾電池を交換する時期

電池の残量がなくなってくると、表示窓の表示でお知らせします。

点滅

残量は十分です。

残量が少なくなってきました。

電池が消耗しています。電源が切れ、操作ができなくなります。

以下の画面（英語表示では、「LOW BATTERY」）が表示されたら、電池を交換してください。

ご注意

- 電池を交換する際、消耗した電池を抜いてから3分以内に新しい電池を入れないと、時計設定画面（日付表示が点滅）に戻ってしまったり、日付・時刻が正しく表示されないことがあります。この場合は時計を合わせ直してください。
  なお、録音した内容やアラーム設定は消えません。
- 電池を交換するときは、必ず2本とも新しい乾電池に交換してください。

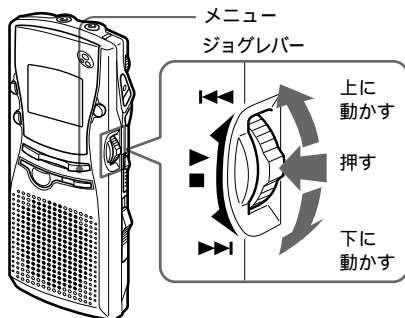
乾電池の持続時間（ソニーアルカリ乾電池LR03（SG）使用時）

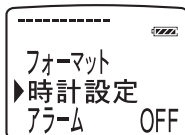
連続使用の場合：録音時約5時間、
再生時約4時間*

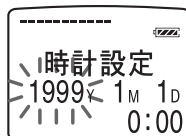
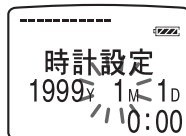
* 音量（VOL）つまみ「4」付近で内蔵スピーカーで再生した場合
* 電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。

ご注意
本機にはマンガン電池はお使いになれません。

準備2：時計を合わせる

アラーム機能を使用したり、録音した日付を記録するためには、本機の時計合わせをしておく必要があります。
お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま長時間お使いにならなかったあとに電池を入れたときは、日付表示が点滅します。手順4から始めてください。

1 メニューボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。

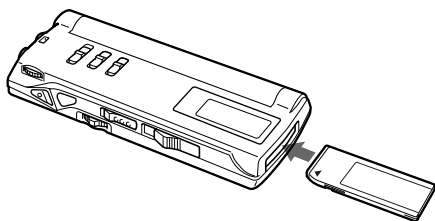
2 ジョグレバーを上に一回動かして「時計設定（DATE&TIME）」を選ぶ。

3 ジョグレバーを押す。
時計設定画面が表示されます。

4 年、月、日、時、分を合わせる。
① ジョグレバーを上下に動かして「年」の数字を選ぶ。

② ジョグレバーを押す。
「月」の数字が点滅します。

③ 同様にして、「月」、「日」、「時」、「分」を合わせる。
④ 時報と同時にジョグレバーを押す。
メニュー画面に戻ります。

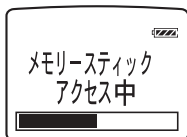
5 メニューボタンを押す。
通常の画面に戻ります。

現在時刻を表示させるには
スリープ表示（37ページ）中に停止ボタンを押すと、3秒間表示されます。

準備3：“ メモリースティック ”を入れる

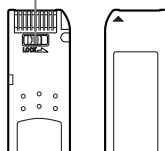
“ メモリースティック ”を◀マークの向きに合わせて下図のようにメモリースティック挿入口に挿入します。

ご注意
- “ メモリースティック ”は奥まできちんと差し込んでください。
- “ メモリースティック ”の向きを逆にして挿入しないでください。故障の原因となります。

“ メモリースティック ”を入れると

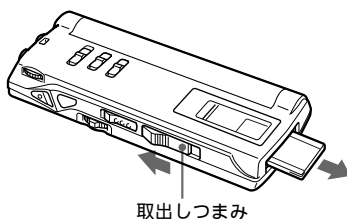
下記の画面が出ます。お買い上げ後、初めて“ メモリースティック ”を入れたときや、用件の入っていない“ メモリースティック ”を入れたときは、“ メモリースティック ”内にフォルダが自動的に3つ（FOLDER01、FOLDER02、FOLDER03）作られます。

“ メモリースティック ”アクセス中のご注意

画面上で「メモリースティックアクセス中（ACCESS）」と表示が出ている間や、本体上部の録／再ランプがオレンジに点滅している間は、アクセス中です。アクセス中には“ メモリースティック ”を取り出したり、乾電池やACパワーアダプターをはずさないでください。データが破壊されることがあります。

“ メモリースティック ”の誤消去防止について

誤消去防止用スイッチ

誤消去防止用スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去などができなくなります。

“ メモリースティック ”を取り出すには

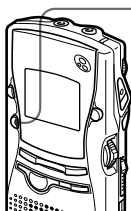
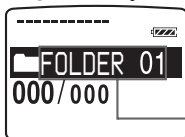
取出しつまみを矢印の方向にずらして、下図のように“ メモリースティック ”をメモリースティック挿入口から取り出します。

用件を録音する

付属の“ メモリースティック ”（16MB）で最大約131分（LPモード）／約63分（SPモード）、最大965件の用件が録音できます *。録音した用件は用件フォルダの中に分類して保管します。あらかじめ作られている3個のフォルダに加えて、お好みで新しいフォルダを作成することもできます（詳しくは27ページ参照）。

* 付属の“ メモリースティック ”をICD-MS1用としてのみ使用、初期状態（3フォルダ）で録音した場合。録音可能時間、用件数は使用する“ メモリースティック ”の容量および使用条件により異なります。詳しくは45ページ「システム上の制約」をご覧ください。
* お買い上げ時は、SPモードが選択されています。SPモードとLPモードを混ぜて録音すると録音可能時間は63分〜131分の間になります。

ご注意

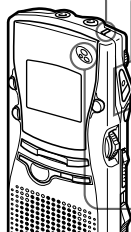
長時間録音するときは、新しい電池を入れてください。録音を始める前に必ず電池残量表示（11ページ）を確認してください。別売りのACアダプターを使って家庭用電源（コンセント）につないで使うこともできます（41ページ）。

1 録音したいフォルダを選ぶ

①フォルダボタンを何度か押して録音したいフォルダを表示させる。

フォルダのタイトル（30ページ）

②フォルダボタンを1秒以上押して決定する。

新しくフォルダを追加する場合は27ページをご覧ください。

☞フォルダボタンを押したあと、ジョグレバーを上下に動かしてフォルダを選択し、ジョグレバーを押して決定することもできます。

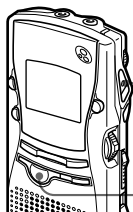
2 録音を始める

①●録音／停止ボタンを押す。

●録音／停止ボタンは、録音中ずっと押し続ける必要はありません。

②内蔵マイクに向かって話す。

ご注意

録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されてしまうことがありますので、ご注意ください。

3 録音を止める

●録音／停止ボタンを押す。

今録音した用件の始めで停止します。

☞ **録音を止めるには**

●録音／停止ボタンの代わりに停止ボタンを押して、録音を止めることもできます。

次に録音するとき、フォルダが同じ場合は、手順1は省略できます。

☞ **録音モードを切り換えるには**

39ページをご覧ください。

ご注意

録／再ランプが赤またはオレンジに点灯・点滅中は“メモリースティック”を抜いたり、乾電池やACパワーアダプターをはずさないでください。

☞ **内蔵マイクの感度を切り換えるには**

用途に合わせ、裏面のマイク感度切り換えスイッチを切り換えます。

会議：会議録音モード。遠くの音や小さい音を録音するとき使います。（例：会議を録音するとき）

口述：口述録音モード。近くの音や大きい音を録音するとき使います。（例：マイクを口元に近づけて録音するとき）

☞ **外部マイクや他の機器から録音するには**

41ページをご覧ください。

その他の操作

今録音したばかりの用件を聞くには

- ●録音／停止ボタンまたは停止ボタンを押して録音を停止したあと、次にジョグレバーを押すと、今録音した用件の始めから聞くことができます。
- 録音を停止する前にジョグレバーを押しても、録音が止まり、その用件の始めから再生が始まります。

録音中の音を聞く（モニターする）には

別売りのイヤホンを◎（イヤホン）ジャックに差し込んでください。モニター音は音量つまみで調節できます（録音レベルは一定です）。

ご注意

録音モニター中に音量を上げすぎたり、イヤホンをマイクに近づけすぎたりすると、イヤホンの音をマイクが拾い、ピーッという音（ハウリング）が生じることがあります。

録音の途中で止めるには（一時停止）

一時停止する *	❚❚（一時停止）ボタンを押す。録音一時停止中は録／再ランプが赤く点滅し、「一時停止(PAUSE)」表示が点滅します。
一時停止を解除する	もう一度❚❚（一時停止）ボタンを押す、または●録音／停止ボタンを押す。先ほど録音していた用件に続けて録音することができます。（録音一時停止後、録音を続けず、停止するときは、停止ボタンを押します。）

* 録音を一時停止して約1時間たつと、一時停止は解除され、録音停止になります。

用件を録音する（つづき）

メモリーの残量表示について

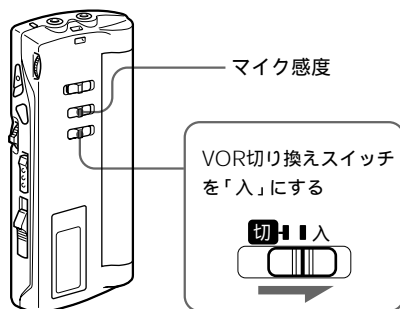
“メモリースティック”の残量が減ると一つずつ消えていきます。“メモリースティック”に音声データ以外のデータが入っている場合には、それを除いた空き容量残量が表示されます。録音可能な残り時間は、表示モードを切り換えて、残り時間表示モードで確認することができます（37ページ）。

残り時間が5分を切ると、メモリー残量表示が点滅します。さらに残り時間が1分を切ると、残り時間表示が点滅します（37ページの表示モードの設定には関係なく残り時間表示となります）。メモリーがいっぱいになると、自動的に録音が止まり、「ピピピピ」という警告音が鳴り、「メモリー残量がありません（NO MEMORY SPACE）」が表示されます。
録音を続けるには、不要な用件をいくつか消去してください（20ページ）。

録音中に早戻し（レビュー）するには

録音中にジョグレバーを上に動かすと、録音が解除され今録音したところを早戻し（レビュー）再生されます。ジョグレバーを元に戻すと、戻したところから再生が始まります。
録音一時停止状態でも同様に操作できます（早戻し中に再生音は聞こえません）。
続けて上書き録音（24ページ）をしたいときになど便利です。

デジタルVOR機能

VOR（自動音声録音スタート）機能を使うと、ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が止まるので、空録音の部分がなくなり、効率の良い録音をすることができます。

VOR切り換えスイッチ「入」の状態で、14ページの操作をして録音を始めると、音が小さいときには自動的に録音を一時停止します。このとき、「VOR録音一時停止（VOR REC PAUSE）」が表示されます。

デジタルVORを解除するには

VOR切り換えスイッチを「切」にします。

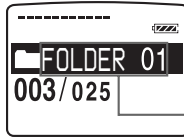
ご注意

VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてマイク感度切り換えスイッチ（15ページ）を「会議」または「口述」に切り換えてください。マイク感度を切り換えても思いどおりに録音できないときや、大切な録音をするときは、VORを「切」にしてください。

録音した用件を聞く

あらかじめ録音してある用件を選んで聞くときは、手順1から操作してください。
今録音したばかりの用件を聞くには、手順3から行ってください。

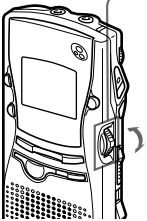
1 フォルダを選ぶ

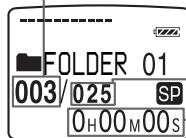
①フォルダボタンを何度か押して再生したい用件の入ったフォルダを表示させる。

フォルダのタイトル（30ページ）

②フォルダボタンを1秒以上押して決定する。

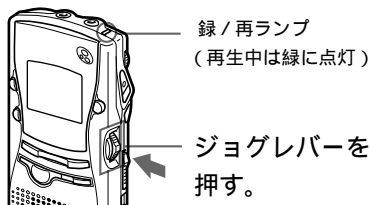
新しくフォルダを追加する場合は27ページをご覧ください。

☞フォルダボタンを押したあと、ジョグレバーを上下に動かしてフォルダを選択し、ジョグレバーを押して決定することもできます。

2 用件番号を選ぶ

ジョグレバーを上下に動かして、聞きたい用件の番号を表示させる。

- ジョグレバーを上に動かす（I◀◀）:前の用件へ
- ジョグレバーを下に動かす（▶▶I）:次の用件へ

選んだ用件番号

次のページへ続く

3 再生を始める

1つの用件の再生が終わると、次の用件の始めで停止します。
フォルダ内の最後の用件の再生が終わると、その用件の始めに戻って停止します。

4 音量を調節する

☞ **イヤホンやヘッドホンで聞くには**
イヤホンまたはヘッドホン（別売り）を⑨（イヤホン）ジャックに差し込んでください。スピーカーからは音が出なくなります。ヘッドホンを差し込むと、両耳から聞こえます（ただし、音声はモノラルです）。

その他の操作

再生の途中で止めるには

再生の途中で停止し、用件の頭に戻る	停止ボタンを押す。
再生の途中、その位置で停止する*（一時停止）	ジョグレバーを押す。もう一度ジョグレバーを押すと、止めたところから再生が始まります。

* ❚❚（一時停止）ボタンを押しても、再生を一時停止できます。このときは、録／再ランプが緑に点滅します。また、約1時間たつとその位置で停止状態になります。

用件を選ぶには

今聞いている用件の頭に戻る	ジョグレバーを上に一度動かす。
前の用件、さらに前の用件に戻る	ジョグレバーを上に何回か動かす。
次の用件に進む	ジョグレバーを下に一度動かす。
さらに次の用件に進む	ジョグレバーを下に何回か動かす。

☞ **最後の用件の終わりまで再生または早送り（キュー）すると**

最後の用件の終わりまで来ると、「用件終了（MSG. END）」表示が3秒間点滅します。
点滅中は録／再ランプは緑に点灯しています（再生音は聞こえません）。「用件終了（MSG. END）」の点滅中にジョグレバーを上にしたままにすると、早戻しされ、離したところから再生が始まります。
「用件終了（MSG. END）」の点滅と録／再ランプが消えると、最後の用件の頭に戻って止まります。
最後の用件が長時間の用件の場合で、用件中の後ろの方を探して再生したい場合は、ジョグレバーを下にし続けていったん用件の最後まで早送りして、「用件終了（MSG. END）」表示の点滅中にジョグレバーを上にして聞きたいところまで早戻しして探すと便利です。
最後の用件以外の場合は、次の用件の頭に送ってから再生中に早戻しすると素早く探せます。

用件の頭だけをひと通り聞くには — スキャン再生

22ページをご覧ください。

フォルダ内の用件を続けて聞くには — 連続再生

40ページをご覧ください。

再生中に早送り／早戻しするには（キュー／レビュー）

- 早送り（キュー）
  再生中にジョグレバーを下にしたままにして、聞きたいところで離します。
- 早戻し（レビュー）
  再生中にジョグレバーを上にしたままにして、聞きたいところで離します。

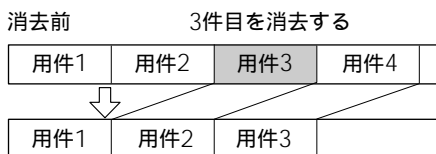
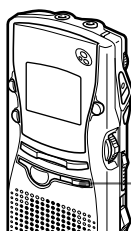
最初は少しずつ（4秒単位で）早送り／早戻しされるので、1語分だけ戻したり、送ったりして聞きたいときに便利です。
しばらくそのままにすると、高速での早送り／早戻しになります。
早送り／早戻し中は、表示モード（37ページ）の設定に関係なく、カウンター表示になります。
一時停止中でも同様の操作ができます。聞きたいところで離すと、そこで一時停止状態となります。

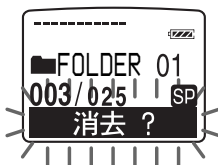
録音した用件を消去する

録音した用件を1件ずつ、または1つのフォルダ内の全用件を一度に消去することができます。
一度消去した内容はもとに戻すことはできませんので、ご注意ください。

1件ずつ消去する

消したい用件だけ消去することができます。用件を消すと、次の用件が自動的に繰り上がるので、間に空白部分は残りません。

消去前　　　　　　3件目を消去する

消去後　　　　　　用件の番号が繰り上がる

1　消去したい用件を再生中に消去ボタンを押す。または、停止中に消去ボタンを１秒以上押す。

用件番号と「消去？(ERASE)」が点滅し、消去したい用件の初めと終わりの5秒が10回ずつ再生されます。

2　用件が再生されている間に消去ボタンをもう1度押す。

用件が消去され、以降の用件番号が繰り上がります。
例えば、用件3を消去した場合、用件4だったものが用件3になります。消去が完了すると、消去した用件の次の用件の頭で停止します。

途中で消去をやめるには

手順2の前に停止ボタンを押します。

他の用件を消去するには

手順1と2を繰り返します。

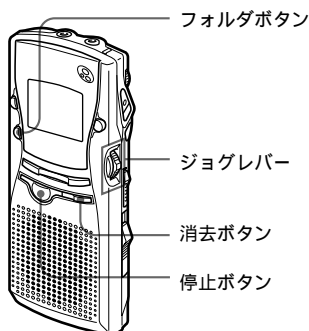
ひとつの用件の一部分だけ消去するには

インデックスを追加（25ページ）して、消去する部分としない部分に分けてから、消去したい部分の用件番号を選んで操作をします。

ご注意

用件を消去できないときはエラーメッセージが表示されます。詳しくは「故障かな？」（43ページ）をご覧ください。

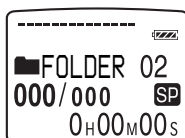
フォルダの中身を一度に消去する

1つのフォルダの中のすべての用件を一度に消去することができます。フォルダ自体は削除されません。フォルダの削除について詳しくは、27ページをご覧ください。

1 全用件を消去したいフォルダを表示させる。

詳しくは「用件を録音する」（14ページ）の手順1をご覧ください。

2 停止ボタンを押しながら、消去ボタンを1秒以上押す。

「全消去？（ERASE ALL）」が10秒間点滅します。

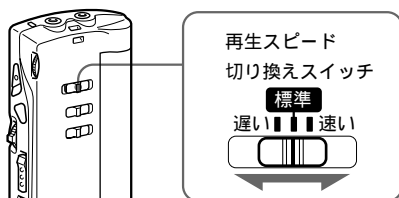
3 点滅している間に消去ボタンを押す。

途中で消去をやめるには

手順3の前に停止を押します。

ご注意

- 「全消去中（ERASE ALL）」と表示中や録／再ランプがオレンジに点滅中は“メモリースティック”を抜いたり、乾電池やACパワーアダプターをはずさないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- フォルダ内の全用件消去ができないときはエラーメッセージが表示されます。詳しくは「故障かな？」（43ページ）をご覧ください。

再生スピードを調節する

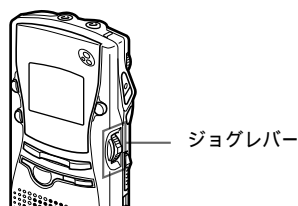
本機の裏面にある再生スピード切り換えスイッチによって、再生速度を調節できます。

再生スピード切り換えスイッチを「速い」または「遅い」に合わせる。

「速い」の位置のときに再生を始めると、「速聞き再生（FAST PLAY）」の表示が3回点滅し、速い速度（SPモード：約20%、LPモード：約30%）で再生されます。
「遅い」の位置のときに再生を始めると、「遅聞き再生（SLOW PLAY）」の表示が3回点滅し、約15%遅い速度で再生されます。

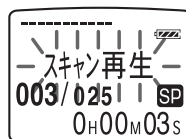
通常の再生に戻すには

「標準」に合わせます。

☞ 再生中に再生スピードを切り換えることもできます。

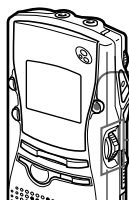
用件の頭だけをひと通り再生する

（スキャン再生）

停止中にジョグレバーを1秒以上押す。

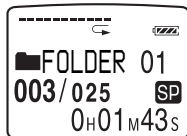
「スキャン再生（SCAN PLAY）」が表示され、選んだフォルダ内の最初の用件から最後の用件まで始めの5秒ずつ再生します。

聞きたい用件がみつかったら、ジョグレバーを押すと、その用件を続けて聞くことができます。

通常の再生に戻すには

ジョグレバーを押す。
再生を止めるには、停止ボタンを押します。

繰り返し再生する

同じの用件を繰り返し聞く（1件リピート）

再生中にジョグレバーを1秒以上押す。

「⮎」が表示され、その用件が繰り返し再生されます。

1件リピート再生を解除するには

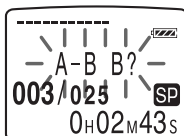
普通の再生に戻すには、ジョグレバーを押します。

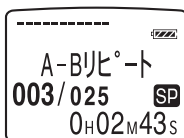
再生を止めるには、停止ボタンを押します。

指定した区間を繰り返し聞く（A-Bリピート）

用件の再生中に、繰り返し聞きたい区間の最初（A点）と最後（B点）を指定します。

1 再生中にA-Bリピート／重要マークボタンを短く押してA点を指定する。

画面上に「A-B B？」と表示されます。

2 もう一度A-Bリピート／重要マークボタンを短く押して、B点を指定する。

「A-Bリピート（A-B REPEAT）」と表示され、指定した区間が繰り返し再生されます。

ご注意

- 2件以上の用件にまたがってA-Bリピートの区間を指定することはできません。
- B点を指定しないと、その用件の終わり（または始め）が自動的にB点になります。

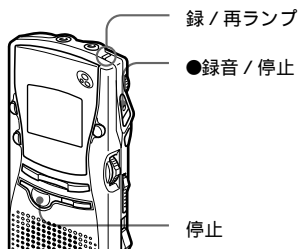
☞ A点を指定したあとで早戻し（レビュー）をして　B点を指定した場合は、B点からA点へ繰り返し再生されます。

☞ A-Bリピート再生中にA-Bリピート／重要マークボタンで区間指定をし直すことができます。

A-Bリピート再生を解除するには

普通の再生に戻すには、ジョグレバーを押します。

再生を止めるには、停止ボタンを押します。

録音済みの用件に追加または上書き録音をする

録音済みの用件に追加録音をする

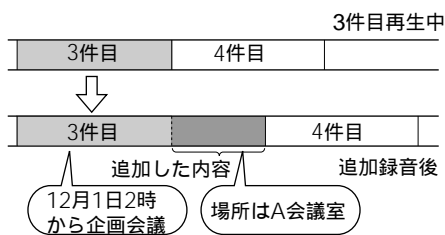
用件を再生中に、その用件に追加して録音することができます。新しく追加した内容は、どこで録音を始めても、再生中の用件の最後に追加されます。
用件番号は新たにつけられるのではなく、再生中の用件の一部として数えられます。

3件目再生中

3件目　4件目

3件目　4件目

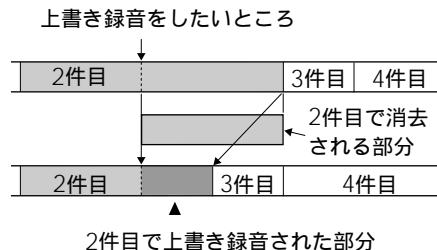
追加した内容　追加録音後

12月1日2時から企画会議　場所はA会議室

1　再生中に●録音／停止ボタンを1秒以上押す。

「追加録音（ADD REC)」表示が3回点滅します。録／再ランプは赤に変わります。
再生中の用件に追加録音されます。

2　●録音／停止ボタンまたは停止ボタンを押して録音を止める。

録音済みの用件の途中から上書き録音をする

用件の中の指定した場所に新たに録音することができます。すでに録音してあった部分は消去されます。

1　再生中に●録音／停止ボタンを短く押す。

「上書き録音？（OVERWRITE?)」表示が点滅します。
録／再ランプが赤く点滅します。

2　●録音／停止ボタンを押して録音を開始する。

録／再ランプが赤く点灯します。

3　●録音／停止ボタンまたは停止ボタンを押して録音を止める。

ご注意

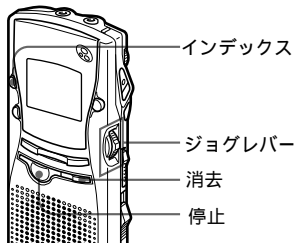
- 追加・上書き録音する部分は、再生中の用件の録音モード（SPまたはLP）と同じ録音モードで録音されます。メニューで設定した録音モード（39ページ）とは異なる場合がありますので、ご注意ください。
- メモリー残量が不足している場合は上書き録音ができません。詳しくは「故障かな？」（43ページ）をご覧ください。

用件をふたつに分ける／つなげる

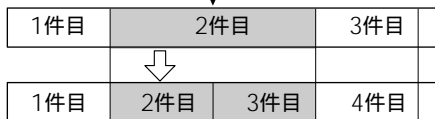
（インデックス追加／削除）

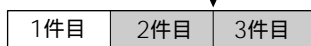
ひとつの用件の途中に「インデックス」を追加してふたつに分割したり、「インデックス」を削除してふたつの用件をひとつにつなげることができます。

録音中／再生中：
　インデックス追加ができます（下記参照）。

停止中：
　インデックス削除ができます（次ページ参照）。

用件をふたつに分ける（インデックス追加）

再生中または録音中に、用件に「インデックス」を追加し、用件を分割することができます。インデックスを追加すると、その場所から新たな用件番号がつくため、会議など長時間録音の場合に、再生したい場所が素早く探せるので便利です。

インデックスを追加

録音中にインデックスを追加するには

用件の録音中に、インデックスを追加したいところでインデックスボタンを押します。
押したところから新しい用件番号がつき、「インデックス追加（ADD INDEX）」が3回点滅します。2つの用件として録音されますが、途切れず続けて録音されます。

☞ 録音一時停止中（15ページ）にもインデックスを追加できます。

再生中にインデックスを追加するには

分割したい用件を再生し、インデックスを追加したいところでインデックスボタンを押します。
用件が分割され、「インデックス追加（ADD INDEX）」が3回点滅します。
以降の用件番号はひとつずつ送られます。

☞ ❚❚（一時停止）ボタンで再生一時停止中（18ページ）にもインデックスを追加できます。

次のページへ続く

用件をふたつに分ける／つなげる（つづき）

インデックスを追加した部分を探して聞くには

分割した用件を1件として用件番号がついているので、用件番号を探すときと同様にジョグレバーを上下に動かして再生する部分を探してください。

☞ **分割した用件を続けて聞くには**

40ページ「フォルダ内の用件を続けて再生する」で「連続再生（CONT.）」を選ぶと便利です。

ご注意

- インデックスを追加するには、メモリースティックに一定の空き容量が必要です。詳しくは「システム上の制約」（45ページ）をご覧ください。
- 「インデックスが追加できません（INDEX FULL）」と表示されたときは、インデックス追加ができません。用件数を減らしてからインデックス追加を行ってください。詳しくは「システム上の制約」（45ページ）をご覧ください。
- 分割した後ろの用件に付く録音日時（38ページ）は分割する前の用件の録音日時（録音開始日時）と同じになります。
- 用件タイトル（30ページ）の付いた用件にインデックス追加をした場合、分割した後ろの用件にも同じタイトルが付きます。
- 重要マーク（29ページ）の付いた用件にインデックスを追加した場合、分割した後ろの用件にも同じ重要マークが付きます。

用件をつなげる（インデックス削除）

「インデックス」を削除することで2つの用件を１つの用件にまとめることができます。

インデックスを削除
▼

1件目	2件目	3件目	4件目
	⇩		
1件目	2件目		3件目

用件番号が1つずつ減る

停止中に操作します。

1 ジョグレバーを上下に動かして、つなげたい2つの用件のうち、後ろのほうの用件番号を選ぶ。

2 インデックスボタンを押しながら消去ボタンを1秒以上押す。

「インデックス削除？（ERASE INDEX）」表示が10秒間点滅します。

3 点滅している間に消去ボタンを押す。

2つの用件が1つの用件にまとまり、用件番号が上図のようにつけ直されます。

ご注意

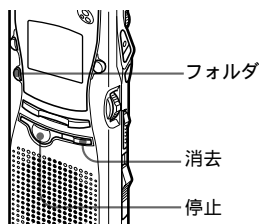
- 用件をつなげると、後ろの用件の用件タイトル（30ページ）やアラーム設定（34ページ）、重要マーク（29ページ）、録音日時（37ページ）などは削除されます。
- 2つの用件の録音モードが異なる場合、インデックス削除はできません。

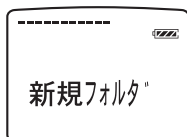
インデックスの削除を途中でやめるには

手順3の前で停止ボタンを押します。

フォルダを追加／削除する

初期設定ではFOLDER01、02、03の3個のフォルダが作られていますが、お好みで新しいフォルダを増やすことができます。
また、使わなくなったフォルダを削除することができます。

ご注意
作成できるフォルダ数の上限は、使用する“メモリースティック”の容量および使用条件により異なります。
システム上の制約（45ページ）により新しいフォルダを追加できない場合は、「フォルダが追加できません（FOLDER FULL）」と表示されます。
付属の16MB“メモリースティック”を本機専用として使用し、各フォルダに用件を１件ずつ録音した場合は最大340個のフォルダが作れます。

フォルダを追加する

フォルダボタンを1秒以上押す。
「新規フォルダ（NEW FOLDER）」と表示され、フォルダが追加されます。

追加されたフォルダのフォルダタイトルについて

自動的に「FOLDER○○」というタイトルが付きます。「FOLDER 04」「FOLDER AB」など、2桁の数字またはアルファベットの組み合わせになります。現在のフォルダに欠番がある場合は、空いている番号（アルファベット）が自動的に割り当てられます。
フォルダタイトルはお好みで変更することができます（30ページ）。

フォルダを削除する

フォルダに用件が1件も入っていない場合にフォルダの削除ができます。

1 削除したいフォルダを表示させる。
フォルダの選びかたについて詳しくは、「用件を録音する」の手順1（14ページ）をご覧ください。

ご注意
用件が入っているフォルダは削除できません。用件をすべて消去するか（21ページ）、他のフォルダへ移動させて（28ページ）からフォルダを削除してください。

2 停止ボタンを押しながら消去ボタンを1秒以上押す。
「フォルダ削除？（ERASE FOLDER）」表示が10秒間点滅します。

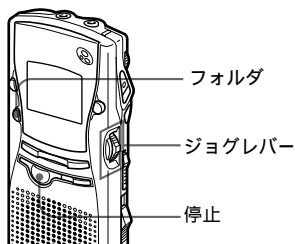
3 点滅している間に消去ボタンを押す。
フォルダが削除されます。

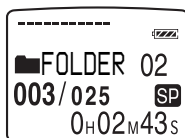
フォルダの削除を途中でやめるには

手順3の前で停止ボタンを押します。

ご注意
- 最後に残った1つのフォルダは削除することができません。
- タイトルに「02」などの数字が付いたフォルダを削除した場合、その削除した番号は欠番となり、それ以降の数字が付いているフォルダタイトルには変更がありません。

用件を別のフォルダに移動する

録音済みの用件を、別のフォルダに移動させることができます。

例：FOLDER02の3件目の用件を
FOLDER03に移動する場合

1 移動させたい用件を再生する。

2 用件の再生中にフォルダボタンを押す。

移動先のフォルダが反転表示、「用件移動（MOVE MSG.）」が点滅表示し、用件の頭の5秒と最後の5秒が10回繰り返し再生されます。

3 ジョグレバーを上下に動かして移動先のフォルダを選び、ジョグレバーを押して決定する。

用件が移動先のフォルダに移動します。そのフォルダの録音日時順または、重要マーク順に従った場所に挿入されます。

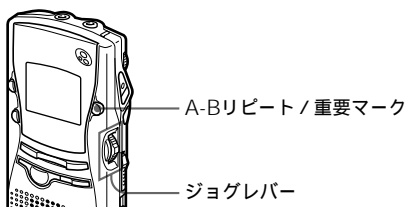
途中でフォルダの移動をやめるには
手順3の前に停止ボタンを押します。

ご注意
用件を移動すると、もとのフォルダからは用件がなくなり、移動先のフォルダのみに用件が入ります。（用件をコピーする機能ではありません。）

用件に優先順位をつけて並べ替える
（重要マーク）

通常、用件は各フォルダの中で録音日時の古い順に番号が付けられて並んでいます。これを、重要な用件が先に来るように、重要マーク（▲）を付けて並べ替えることができます。
「▲▲▲」（最重要）、「▲▲」、「▲」、無印の4段階に並べ替えることができます。
停止中または再生中に操作ができます。

A-Bリピート／重要マーク

ジョグレバー

停止中に重要マークを付けるには

1 重要マークを付けたい用件を表示させる。

2 A-Bリピート／重要マークボタンを1秒以上押す。

「重要マーク（PRIORITY）」表示と▲マークが点滅します。

3 点滅している間にA-Bリピート／重要マークボタンを何度か押して▲の数を選ぶ。

点滅から点灯に変わると、設定が完了し、用件が並び替わります。

再生中に重要マークを付けるには

1 重要マークを付けたい用件の再生中にA-Bリピート／重要マークボタンを1秒以上押す。

「重要マーク（PRIORITY）」表示と▲マークが点滅し、用件の始めと終わりの5秒が10回ずつ再生されます。

2 点滅している間にジョグレバーを動かして、▲の数を選ぶ。

3 ジョグレバーを押して決定する。

設定が完了し、用件が並び替わります。

重要マークの付いた用件は

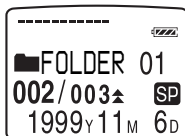
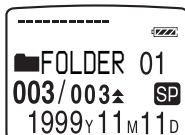
各フォルダの中で、▲の数の多い順に自動的に並べ替えられます。▲のない用件は、▲のある用件の後ろに並びます。

次のページへ続く

用件に優先順位をつけて並べ替える（つづき）

☞ **▲の数が同じ用件が2件以上ある場合は**
録音日時の古い順に並びます。

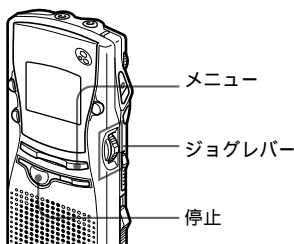
例：同じフォルダに用件が3件入っているとき
1番目

2番目

3番目

ご注意
付属のソフトウェア「Memory Stick Voice Editor」上で重要マークを付けた場合、パソコン上で重要マーク順にソートしないと、ICレコーダーでは重要マーク順には並びません。

フォルダや用件に名前を付ける
（フォルダタイトル／用件タイトル）

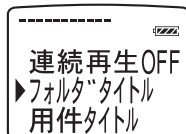
フォルダや用件の名前（タイトル）を自分で設定することができます。

ご注意
本機で入力できるのは、半角カナと、英数字のみです。

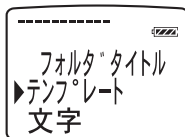
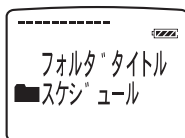
☞ 付属のソフトウェア「Memory Stick Voice Editor」を使ってパソコン上でタイトルの入力も可能です。詳しくは「Memory Stick Voice Editor」の取扱説明書をご覧ください。この場合、全角や漢字、かなのタイトルの設定もできますが、本機で対応していない一部の特殊文字は文字化けすることがあります（44ページ）。

フォルダタイトルを付ける

フォルダには自動的に「FOLDER03」などのようにナンバリングされたタイトルが付いていますが、本機で文字を入力したり、あらかじめ用意されているテンプレートを選択することで、お好みのタイトルを付けることができます。

1 メニューボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。

2 ジョグレバーを上下に動かして「フォルダタイトル（FOLDER NAME）」を選ぶ。

3 ジョグレバーを押す。

4 ジョグレバーを上下に動かして「テンプレート（TEMPLATES）」または「文字（ALPHABET）」を選び、ジョグレバーを押す。

フォルダタイトル
▶テンプレート
文字

5 テンプレートからタイトルを選択する場合：

ジョグレバーを上下に動かしてテンプレートに登録されているタイトルを選択し、ジョグレバーを押して決定します。

テンプレートに登録されているタイトル

日本語表示の場合
スケジュール、会議、メモ、会社、出張、講演、研修、スピーチ、アクション、プライベート、アイデア、買い物、お店、歌、旅行、授業、レッスン、インタビュー、伝言、電話、出費

英語表示の場合
ACTION、SCHEDULE、MEETING、OFFICE、HOME、MEMO、REPORT、SPEECH、INTERVIEW、TRAVEL、PERSONAL、PLACE、SHOP LIST、CLASS、MESSAGE、EXPENSE

☞ 日本語のテンプレートは表示言語（40ページ）が「日本語」のとき、英語のテンプレートは「ENGLISH」のときにそれぞれ選択ができます。 決定したタイトルは、表示言語を切り換えてもそのまま表示されます。
☞ テンプレートから選んだフォルダタイトルは、文字入力の方法で変更することもできます。

文字入力をしてタイトルを付ける場合：

フォルダタイトルは半角44文字（全角22文字）まで入力可能です。

現在のフォルダタイトルの最後の文字の後ろにカーソルが点滅します。そのまま後ろに文字を追加するか、現在の文字を修正します。
文字入力と修正のしかたについては次ページをご覧ください。

6 ジョグレバーを1秒以上押して、入力した内容を決定する。

7 メニューボタンを押す。

通常の画面に戻ります。

☞ **長いフォルダタイトルを付けた場合は**
本機の表示窓で表示できるのは半角10文字（全角5文字）までです。
それよりも長いタイトルを付けた場合は、フォルダタイトルを選択する場面（14または17ページの手順1）でスクロール表示されます（通常の画面ではスクロールされません）。
☞ **タイトル入力を途中でやめるには**
停止ボタンを押します。

次のページへ続く

フォルダや用件に名前を付ける（つづき）

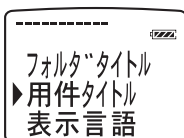
用件タイトルを付ける

用件には自動的にタイトルは付きませんが、本機で文字を入力することでお好みのタイトルを付けることができます。

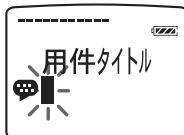
1 メニューボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

2 ジョグレバーを上下に動かして「用件タイトル（MSG. NAME）」を選ぶ。

フォルダ゛タイトル
▶用件タイトル
表示言語

3 ジョグレバーを押す。

4 タイトルを入力する。

用件タイトルは半角254文字（全角127文字）まで入力可能です。

文字入力と修正のしかたについては右記をご覧ください。

5 ジョグレバーを1秒以上押して、入力した内容を決定する。

6 メニューボタンを押す。

通常の画面に戻ります。

☞ **長い用件タイトルを付けた場合は**

本機の表示窓に表示できるのは半角10文字（全角5文字）までです。
それよりも長いタイトルを付けた場合は、表示モードを切り換えたときや用件の再生中などでスクロール表示されます。

☞ **タイトル入力を途中でやめるには**

停止ボタンを押します。

文字入力のしかた

フォルダタイトル（31ページ手順5）や用件タイトル（32ページ手順4）の文字入力画面（カーソルが点滅している状態）で、下記の操作をします。

文字を入力するには

①ジョグレバーを上下に動かして入力文字を選択する。
表示される順番は「入力できる文字一覧」を参照してください。

②ジョグレバーを短く押して決定する。
カーソルが次の文字に移動します。

③同様に次の文字も入力する。

文字を修正するには

入力を間違えたときや、すでに入力済みのタイトルを修正するときは、消去ボタンを1秒以上押して全文字を消去してから入力し直すか、以下の操作をして必要な部分を修正します。

①修正したい文字にカーソルを合わせる。
カーソルを戻す（左に移動）にはインデックスボタンを、進める（右に移動）にはジョグレバーを短く押します。

②カーソルを合わせた場所でジョグレバーを動かして新しい文字を選ぶ。
不要な文字を削除し、それ以降の文字を1文字ずつつめるには、削除する文字にカーソルを合わせて消去ボタンを短く押します。

③ジョグレバーを押してカーソルを次の文字へ移動させ、同様に他の文字も修正する。

ご注意

文字を挿入することはできません。挿入したい場合は、挿入する場所から後ろの文字を上書きして入力し直してください。

文字入力の際のボタンの割り当て

ボタン	押しかた	動作
ジョグレバー（押す）	短く	文字決定（カーソル進む）
	長く	タイトル決定（入力終了）
ジョグレバー（下に動かす）	短く	入力文字の選択（次へ）
	長く	入力文字の早送り
ジョグレバー（上に動かす）	短く	入力文字の選択（前へ）
	長く	入力文字の早戻し
❚❚（一時停止）	短く	カタカナ入力のときにア、カ、サ、タ～の行順に切り換える
消去	短く	カーソルを合わせた文字を1文字削除
	長く	全文字削除
表示	短く	入力文字一覧文字の種類の切り換え
インデックス	短く	カーソル戻す

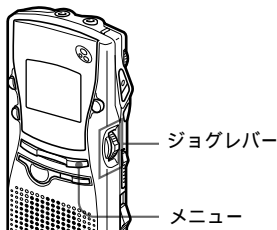
入力できる文字一覧

文字の種類	表示される順番
カタカナ（大文字）	ア イ ～ ヲ ン
カタカナ（小文字）	ァ ィ ゥ ェ ォ ャ ュ ョ ッ
記号1	゛（濁点）゜ ー ’，／：（スペース）
アルファベット（大文字）	A B C D ～ W X Y Z
記号2	’，／：（スペース）
アルファベット（小文字）	a b c d ～ w x y z
記号2	’，／：（スペース）
数字	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
記号3	！゛＃＄％＆（）＊．；＜＝＞？@ _ ` + -‘ ，/ ：（スペース）

用件の編集

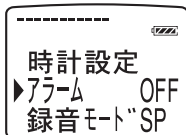
希望の時刻に再生を始める

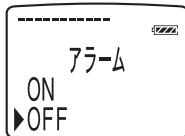
（アラーム再生）

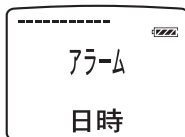
あらかじめ設定した時刻にアラーム音とともに用件を再生することができます。
打ち合わせなどの時間にアラームを設定して、スケジューラーのように使うこともできます。
所定の日付を指定したり、毎週同じ曜日を指定したり、毎日同じ時刻を指定できたりします。
また、用件再生をせずにアラーム音だけ鳴らすようにも設定できます。

1 アラーム再生したい用件を表示させる。

フォルダや用件の選択方法について詳しくは、「録音した用件を聞く」（17ページ）の手順1と2をご覧ください。

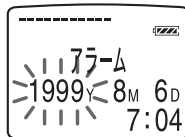
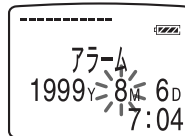
2 アラーム設定画面を表示する。

①メニューボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。

☞「アラーム（ALARM）」が選択されていない場合は、ジョグレバーを動かして選択してください。

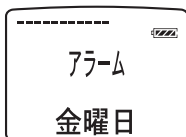
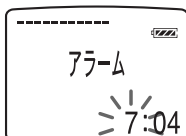
②ジョグレバーを押す。
アラームの設定画面が表示されます。

③ジョグレバーを上下に動かして、「ON」を選ぶ。
すでに「ON」に設定されている場合は、次の手順に進んでください。

④ジョグレバーを押す。
「日時（DATE)」が表示されます。

3 アラーム再生する日時を設定する。

日付を指定する場合

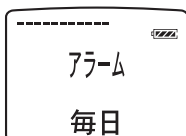
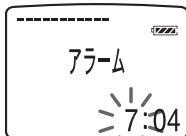
①「日時（DATE)」が表示されている間にジョグレバーを押す。
「年」の数字が点滅します。

②ジョグレバーで年の数字を選び、ジョグレバーを押す。
「月」の数字が点滅します。

③同様に月、日、時、分の数字を選び、ジョグレバーを押す。

週に1回再生したい場合

①ジョグレバーで曜日（「日曜日（SUN）」～「土曜日（SAT）」）を選ぶ。

②ジョグレバーを押す。

③ジョグレバーで時の数字を選び、ジョグレバーを押す。
「分」の数字が点滅します。

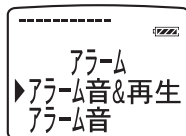
④ジョグレバーで分の数字を選び、ジョグレバーを押す。

毎日決まった時刻に再生したい場合

①ジョグレバーで「毎日（DAILY）」を選ぶ。

②ジョグレバーを押す。

③ジョグレバーで時の数字を選び、ジョグレバーを押す。
「分」の数字が点滅します。

④ジョグレバーで分の数字を選び、ジョグレバーを押す。

4 アラーム時刻に用件を再生するか、アラーム音のみ鳴らすかを選ぶ。

①ジョグレバーで「アラーム音 & 再生（BEEP&PLAY）」か「アラーム音（BEEP ONLY）」を選ぶ。

②ジョグレバーを押す。

5 メニューボタンを押す。

通常の画面に戻ります。
アラーム設定した用件には「(•)」が表示されます。

設定した時刻になると

約10秒間アラーム音が鳴り、選んだ用件の再生が始まります（手順6で「アラーム音（BEEP ONLY）」を選択した場合はアラーム音のみが鳴ります）。
アラーム再生中は、「アラーム（ALARM）」表示が点滅します。
再生が終わると、自動的に停止します（アラーム再生した用件の頭に戻ります）。

☞ **アラーム再生された用件をもう一度聞くには**
ジョグレバーを押すと、その用件の始めから再生されます。

☞ **用件が再生される前に止めるには**
アラーム音が鳴っている間に停止ボタンを押します。ホールドスイッチが入っていても止められます。

ご注意
- アラーム再生中に別の用件の設定時刻になった場合、用件の途中で次のアラームが鳴ります。
- 録音中にアラーム設定した時刻になった場合は、「(•)」表示のみが点滅し、録音を終了したときにアラームが鳴り始めます。
- 録音中に2つ以上のアラーム設定時刻になった場合は、時刻の早い方の用件のみアラームが鳴ります。

次のページへ続く

希望の時刻に再生を始める（つづき）

- メニューモード中にアラーム設定時刻になった時はメニューモードが中止され、アラームが鳴り始めます。
- アラーム設定した用件を消去すると、アラーム設定は無効になります。
- アラーム設定した用件にインデックスを追加した場合、分けた点より前の部分にのみアラーム設定されます。
- アラーム再生を設定した用件のインデックスを削除し、前の用件とつなげた場合、後ろの用件のアラーム設定は無効になります。
- 再生音の大きさは、音量つまみで調節できます。ちょうど良い音量に設定してお使いください。
- 消去中にアラーム設定した時刻になった場合は、消去を終了したときにアラームが鳴り始めます。
- 一度設定したアラームは、アラーム再生を終了した後も設定は解除されません。

現在設定されている内容を確認するには

アラーム設定されている用件で手順1と2を行うと、手順2の②の画面にアラーム再生日と時刻が表示されます。

アラーム設定を解除またはアラーム設定内容を変更するには

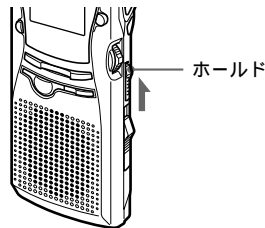
①アラーム設定してある用件を選び、メニューボタンを押す。

②「アラーム（ALARM）」を選択し、ジョグレバーを押す。

③**アラーム設定を解除する場合：**
ジョグレバーで「OFF」を選び、ジョグレバーを押す。
アラーム時刻を変更する場合：
ジョグレバーを押す。
現在設定されているアラーム再生日時が表示されたら、34〜35ページの手順3〜5を行い、設定内容を変更します。

④**メニューボタンを押す。**
通常の画面に戻ります。

誤操作を防止する

（ホールド機能）

ホールドスイッチを矢印の方向にずらします。
表示窓に「ホールド（HOLD）」が3回点滅し、すべてのボタンが操作できなくなります。
停止中にホールドにすると、「ホールド（HOLD）」表示の点滅のあと、表示窓の表示がすべて消えます。

ホールドを解除するには

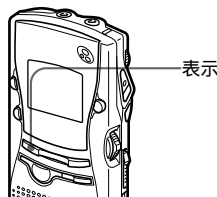
操作できるようにするには、ホールドレバーを矢印と反対の方向にずらしてください。

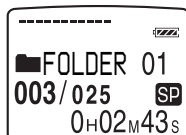
ご注意

録音中にホールドにした場合、録音を止めるには、まずホールドを解除してください。

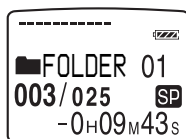
☞ ホールド中でもアラーム再生は止められます。アラーム再生時、アラーム音や用件再生を止めるときには停止ボタンは使えます（通常の用件再生は停止できません）。

画面表示モードを切り換える

表示ボタンを押すと、下記のように画面表示を切り換えることができます。停止時、録音時、再生時とも、設定しておいた画面表示モードになります。

①カウンター表示モード

ひとつの用件の中の経過時間を表示します。

⬇（表示ボタンを押す）

②残り時間表示モード

再生中はその用件の中の残り時間を表示します。録音中、停止中は録音可能な残り時間を表示します。

（再生中）

（録音中・停止中）

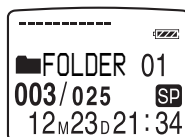
⬇（表示ボタンを押す）

③録音年月日表示モード

用件を録音した年月日を表示します。
時計を合わせていない場合は、「----Y--M--D」と表示されます。

⬇（表示ボタンを押す）

④録音日時表示モード

用件を録音した月日、録音開始時刻を表示します。
時計を合わせていない場合は、「--M--D--:--」と表示されます。
（表示されるのは用件の録音開始時刻のみです。1件の用件の中では録音日時は進みません。）

⬇（表示ボタンを押す）

⑤用件タイトル名表示モード

用件タイトル名を表示します。（用件タイトルを設定していない場合は、タイトル名は表示されません）。

☞ **長い用件タイトルを付けた場合**
半角10文字（全角5文字）以上の用件タイトルを付けた場合は、スクロール表示されます。

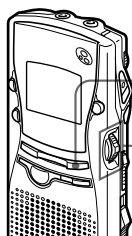
⬇（表示ボタンを押す）

①に戻る。以降①〜⑤繰り返し。

☞ **スリープ表示について**
停止中に3秒以上何も操作をしないと、表示モードに関係なく、下のようなスリープ表示になります。

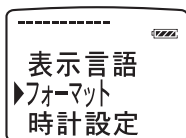
☞ **現在時刻表示について**
スリープ表示中に停止ボタンを押すと、現在時刻が3秒間表示されます。

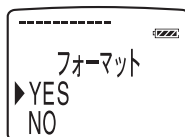
“ メモリースティック ” を初期化する

本機で“ メモリースティック ”をフォーマット（初期化）することができます。フォーマットすると、“ メモリースティック ”に記録されたデータはすべて消去されます。
フォーマットする前に事前に内容を確認してください（フォーマットすると、本機で録音した用件以外のデータも消去されます）。
市販の“ メモリースティック ”はお買い上げ時にすでにフォーマットされています。再度フォーマットをする必要はありません。
本機に付属の“ メモリースティック ”も同様です。

1 メニューボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

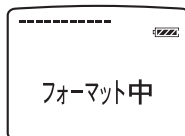
2 ジョグレバーを上下に動かして「フォーマット（FORMAT）」を選ぶ。

表示言語
▶フォーマット
時計設定

3 ジョグレバーを押して決定する。

4 ジョグレバーを動かして「YES」を選ぶ。

5 ジョグレバーを押す。

再確認として画面に「OK？」と表示がでます。

6 ジョグレバーを押す。

フォーマットが始まります。
フォーマット中は画面に「フォーマット中（FORMATTING）」と表示されます。

フォーマットが終わったら手順2の画面になります。

7 メニューボタンを押す。

通常の画面に戻ります。

フォーマットをすると、自動的にフォルダが3つ作成されます（はじめて“ メモリースティック ”を入れたときと同じ状態です）。

☞ 途中でフォーマット（初期化）を中止するには
手順4で「NO」を選ぶか、手順5で「OK？」の表示中に停止ボタンを押してください。

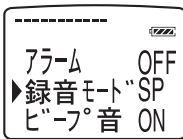
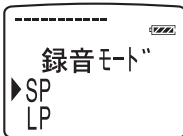
ご注意
“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっているときは、フォーマットできません。

録音モードを切り換える

SP：より良い音質で録音できます。
LP：長時間の録音ができます。
付属の“メモリースティック”（16MB）を使用した場合、SPモードで最大約63分、LPモードで最大約131分録音が可能です。
その他の種類の“メモリースティック”の場合は、8ページを参照してください。

1 メニューボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。

2 ジョグレバーを上下に動かして、「録音モード（MODE）」を選ぶ。

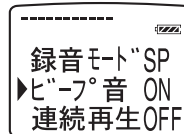
ｱﾗｰﾑ　OFF
▶録音ﾓｰﾄﾞ SP
ﾋﾞｰﾌﾟ音 ON

3 ジョグレバーを押して決定する。
録音モードの選択画面が表示されます。

4 ジョグレバーでSPまたはLPを選び、ジョグレバーを押す。
設定が完了しました。

5 メニューボタンを押す。
通常の画面に戻ります。

ピッという確認音を切る

ON：操作時の受け付け確認音およびエラー音（ピピピピ）が鳴ります。
OFF：操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません（アラームは鳴ります）。

1 メニューボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。

2 ジョグレバーを上下に動かして「ビープ音（BEEP）」を選ぶ。

3 ジョグレバーを押して決定する。
ビープ音の選択画面が表示されます。

4 ジョグレバーでONまたはOFFを選び、ジョグレバーを押す。
設定が完了しました。

5 メニューボタンを押す。
通常の画面に戻ります。

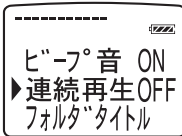
フォルダ内の用件を続けて再生する

（連続再生）

ON：用件を続けて再生します。
OFF：用件が終わるごとに止まります。

1　メニューボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。

2　ジョグレバーを上下に動かして「連続再生（CONT.）」を選ぶ。

ビープ音 ON
▶連続再生OFF
フォルダタイトル

3　ジョグレバーを押して決定する。
連続再生の選択画面が表示されます。

連続再生
ON
▶OFF

4　ジョグレバーでONまたはOFFを選び、ジョグレバーを押す。
設定が完了しました。

5　メニューボタンを押す。
通常の画面に戻ります。

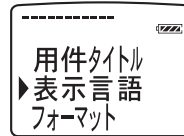
日本語表示と英語表示を切り換える

日本語：画面の表示言語が日本語
ENGLISH：画面の表示言語が英語

すでに登録したフォルダタイトルや用件タイトルは表示を切り換えても登録した言語で表示されます。

1　メニューボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。

2　ジョグレバーを上下に動かして「表示言語（LANGUAGE）」を選ぶ。

用件タイトル
▶表示言語
フォーマット

3　ジョグレバーを押して決定する。
表示言語の選択画面が表示されます。

表示言語
▶日本語
ENGLISH

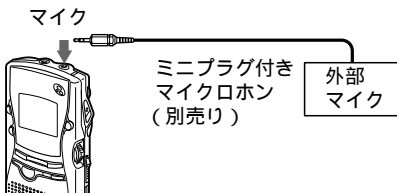
4　ジョグレバーで「日本語」または「ENGLISH」を選び、ジョグレバーを押す。
設定が完了しました。

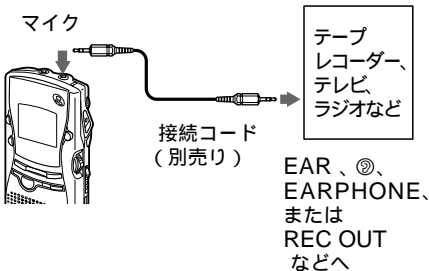
5　メニューボタンを押す。
通常の画面に戻ります。

外部マイクや他の機器から録音する

ご注意 – 録音する前に
- 接続コード類のプラグはしっかり差し込んでください。
- 接続や音量調節の失敗を防ぐため、本番前に試し録音をしてください。
- 下の例はソニー製品の場合です。他社製品との接続がうまくいかないときは、その製品の説明書をご覧ください。

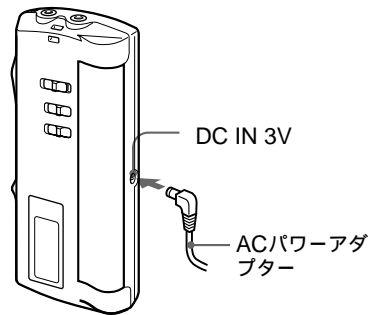
1 マイク端子に、外部マイク（別売り）や他の機器などをつなぐ。

- **外部マイクで録音するには**

外部マイクをつなぐと、内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

- **他の機器から録音するには**

2 「用件を録音する」（14ページ）の手順に従って操作する。

家庭用電源につないで使う

長時間録音などをする場合は、家庭用電源（コンセント）で使うと、電池消耗の心配がなく、便利です。

1 DC IN 3V端子に、別売りのACパワーアダプターAC-E30Lをつなぐ。

2 ACパワーアダプターをコンセントにつなぐ。

ご注意
- この製品には別売りのACパワーアダプターAC-E30Lを（極性統一型プラグ・EIAJ規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。

- 録音中（録／再ランプが赤に点灯・点滅）やアクセス中（録／再ランプがオレンジに点滅）はACパワーアダプターを抜かないでください。データが破壊されることがあります。

使用上のご注意

ノイズについて

- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

本体の取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  –温度が非常に高いところ（60°C以上）。
  –直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  –窓を閉めきった自動車内。（特に夏期）。
  –風呂場など湿気の多いところ。
  –ほこりの多いところ。

キャッシュカードや定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけると、マグネットの影響で磁気が変化してカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

“ メモリースティック ”の取り扱いについて

- 端子部に手や金属で触れないでください。
- ラベルの張り付け部分には、専用ラベル以外は貼らないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
  ー 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  ー 直射日光のあたる場所
  ー 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。
（“ メモリースティック ”が本体に入っているときに故障した場合は、故障原因の早期解決のため、“ メモリースティック ”を入れたままご相談されることをおすすめします。）

データバックアップのお願い

修理に出した場合、録音した内容が消えることがあります。大切な録音内容はあらかじめバックアップを取っておいてください。

お手入れ

本体表面が汚れたときは

水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

故障かな？と思ったら

こんなときは

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。
また、付属のソフトウェアについては別冊の「Memory Stick Voice Editor取扱説明書」もあわせてご覧ください。
それでも解決しない場合、ご不明な点は、裏表紙に記載のテクニカルインフォメーションセンターまでお問い合わせください。
なお、保証書とアフターサービスについては、48ページをご参照願います。

症状	原因／処置
操作ボタンを押しても動作しない	• 乾電池の＋と－の向きが正しくない。 • 乾電池が消耗している。 • ホールドスイッチが入っている（ボタンを押すと「ホールド（HOLD）」表示が3回点滅します）。
スピーカーから音が出ない	• イヤホンまたはヘッドホンが差し込まれている。 • 音量が絞られている。
録音できない	• “ メモリースティック ”が入っていない。 • “ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」の状態になっている（13ページ）。 • メモリーがいっぱいになっている。 → 不要な用件を消去する（20ページ）。
用件を消去できない（１件ずつ消去するとき）	• “ メモリースティック ”の誤消去防止用スイッチが「LOCK」の状態になっている（13ページ）。 • その用件またはその用件の入っているフォルダが、パソコン上で「読み取り専用」に設定されている。 →“ メモリースティック ”内のデータをWindowsのエクスプローラで表示させ、ファイルまたはフォルダのプロパティの「読み取り専用」のチェックをはずす。 • 非対応のデータ（47ページ）の場合、本機では消去できません。
用件を消去できない（フォルダ内の用件を全て消去するとき）	• “ メモリースティック ”の誤消去防止用スイッチが「LOCK」の状態になっている（13ページ）。 • そのフォルダまたは、そのフォルダの中の用件が、パソコン上で「読み取り専用」に設定されている。 →“ メモリースティック ”内のデータをWindowsのエクスプローラで表示させ、フォルダまたはファイルのプロパティの「読み取り専用」のチェックをはずす。
上書き録音できない	• メモリー残量が不足している場合は上書き録音できません。上書きされる部分は、新たに録音される部分の録音が終わってから消去されるため、録音できるのは、現在の残り録音可能時間分のみです。

その他

次のページへ続く

症状	原因／処置
雑音が入る	• 録音したとき、本機をこすってしまい、雑音が録音された。 • 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。 • 外部マイク（別売り）で録音したとき、マイクのプラグが汚れていた。 → プラグをきれいにクリーニングする。 • 別売りのイヤホン／ヘッドホンで聞いているとき、イヤホン／ヘッドホンのプラグが汚れている。 → プラグをきれいにクリーニングする。
録音レベルが小さい	• マイク感度が「口述」になっている。 →「会議」に切り換える（15ページ）。
録音が途中で止まる	• デジタルVOR（16ページ）が作動している。VORを使用しないときは、「VOR OFF」にする。
録音レベルが不安定（音楽などを録音したとき）	• 本機は会議などの録音の際、自動的に録音レベルを調整するように設計されているため、音楽などの録音には適していません。
再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする	• 再生スピード切り換えスイッチを「標準」に合わせる（22ページ）。
時計表示が「--M--D --:--」になる	• 時計を合わせていない（12ページ）。
録音日時表示が「----Y--M--D」または「--M--D --:--」になる	• 時計を合わせていない時に録音した用件には、録音した日付は表示されない。
メニュー表示の項目が足りない	• “メモリースティック”が入っていないと、表示されないメニューがあります（50ページ）。
フォルダタイトルや用件タイトルが文字化けして□になってしまう	• 付属のソフトウェア「Memory Stick Voice Editor」を使ってパソコンでタイトルを入力した場合、本機で対応していない特殊文字や記号が混ざっていると、本機の表示窓では文字化けすることがあります。
用件が重要マークの順に並んでいない	• 付属のソフトウェア「Memory Stick Voice Editor」を使って、パソコンで重要マークを付けた場合、パソコン上で重要マーク順にソートしていれば、本機に戻したときにも重要マーク順に並びますが、ソートしていない場合は、重要マークに関係なく、パソコン上での並び替えた用件の順番になります。
ICレコーダーに表示される残り時間（37ページ）が、付属のソフトウェアでのパソコン上での残量表示より短い	• ICレコーダーではシステム上必要な領域を差し引いて表示しているため、Memory Stick Voice Editorでの残量表示と異なる場合があります。
正常に動作しない	• 乾電池を取り出して、もう一度入れ直す。

システム上の制約

メモリースティックICレコーダーでは、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

症状	原因
最大録音時間まで録音できない	• SPモードとLPモードを混ぜて録音すると、最大録音時間はSPモードとLPモードの最大録音時間の間になります。 • " メモリースティック "に音声データ以外のデータ（画像データなど）が入っている。 • " メモリースティック "には最小録音単位があるため、用件の数が多いと、端数が出ることにより実際の録音可能時間が最大録音時間より短くなることがあります（16ページ）。 • 録音可能時間は、フォルダ数や用件数により変わります（詳しくは下表参照）。
インデックスの追加ができない	• " メモリースティック "の残量が不足している。 " メモリースティック "の残量が録音最小単位より少ないときは、インデックスの追加はできません。 • 1つのフォルダ内で、999件を超えると、インデックスは追加できません。
インデックスの削除ができない	• 異なる録音モード（SP/LP）間のインデックスの削除はできません。
フォルダの追加ができない	• " メモリースティック "の残量が不足している。 " メモリースティック "の残量が録音最小単位より少ないときは、フォルダの追加はできません。

最小録音単位について

用件の録音や、インデックスやフォルダを追加する場合、" メモリースティック "の最小録音単位分必要です。用件の録音時間が録音単位より少ない場合でも、用件は録音最小単位分の時間が使われます。" メモリースティック "の残量が録音最小単位より少ないときは、インデックスやフォルダの追加はできません。

各" メモリースティック "での最小録音単位

録音モード／容量	４ＭＢ	8MB	16MB	32MB	64MB
SPモード	2秒	2秒	4秒	4秒	4秒
LPモード	4秒	4秒	8秒	8秒	8秒

最大録音時間、最大用件数、最大フォルダ数について

" メモリースティック "のメモリーには、録音した音声そのものを記録する他に、インデックスやフォルダの数の情報も記録するため、用件やフォルダの数が増えると、その分もメモリーの残量が減ります。

このため、最大録音時間（8ページ）や最大用件数、最大フォルダ数はそれらの条件の組み合わせにより異なります。

ただし、最大録音時間いっぱいまで録音した場合のみ、インデックスを2つまで追加することができます。これにより、１件の用件で最大録音いっぱいまで録音してしまった時は、用件を3つに分割し、不要な部分を消去することができます。

次のページへ続く

エラー表示一覧

エラー表示	原因／処置
「メモリースティックエラー」（MEMORY STICK ERROR）	もう一度挿入し直してください。再度この表示が出た場合、" メモリースティック "自体の故障が考えられます。
「メモリースティックがありません」（NO MEMORY STICK）	" メモリースティック "をすでに挿入している場合はもう一度挿入し直してください。
「非対応のデータです」（UNKNOWN DATA）	選んだ用件はファイル形式が異なるため、本機で再生や消去ができません。
「アクセスエラー」（ACCESS ERROR）	" メモリースティック "の誤消去防止用スイッチを確認し、「LOCK」されている場合は「LOCK」を解除してから" メモリースティック "をもう一度挿入し直してください。再度この表示が出た場合は、フォーマット（初期化）が必要です。37ページの方法で初期化をしてください。必要な場合は、パソコンなどで内容を確認し、データのバックアップを取ってください。
「メモリースティックがロックされています」（MEMORY STICK LOCKED）	" メモリースティック "の誤消去防止スイッチが「LOCK」されていて、録音や編集、" メモリースティック "の初期化をすることができません。スイッチを左にずらしてからもう一度" メモリースティック "を挿入してください。
「ファイルがプロテクトされています」（FILE PROTECT）	パソコン上でファイルが「読み取り専用」に設定されているため、その用件は編集や消去ができません。また、その用件の入っているフォルダは全消去（21ページ）できません。 「読み取り専用」を解除するには、"メモリースティック"内のデータをWindowsのエクスプローラで表示させ、そのファイルのプロパティの「読み取り専用」のチェックをはずしてください。
「フォルダがプロテクトされています」（FOLDER PROTECT）	パソコン上でフォルダが「読み取り専用」に設定されているため、そのフォルダ内の用件を編集、消去、移動をしたり、そのフォルダ内に新たに用件を録音することができません。また、そのフォルダを削除(27ページ)することはできません。 「読み取り専用」を解除するには、"メモリースティック"内のデータをWindowsのエクスプローラで表示させ、そのフォルダのプロパティの「読み取り専用」のチェックをはずしてください。
「電池を交換して下さい」（LOW BATTERY）	電池が消耗しています。新しい電池に取り替えてください。
「インデックス追加できません」（INDEX FULL）	1フォルダ内の用件の合計数が999件を超えているか、" メモリースティック "の残量が足りないため、インデックスが追加できません。いくつか用件を削除してからやり直してください。
「フォルダ追加できません」（FOLDER FULL）	" メモリースティック "の残量が足りないため、フォルダが追加できません。いくつか用件を削除してからやり直してください。

エラー表示	原因／処置
「インデックス削除できません」（INDEX ERASE PROHIBITED）	2つの用件の録音モードが異なる場合のインデックス削除はできません。
「フォルダ削除できません」（FOLDER ERASE PROHIBITED）	1つしかフォルダがない場合は、フォルダは削除できません。
「同時刻に設定済みです」（ALREADY SET）	すでに別の用件で同じ日時にアラームが設定されています。 アラーム時刻を変えるか、設定を変更してください。
「過去の日時です」（BACK DATE）	現在日時よりも前の日時でアラームを設定しています。年号などもう一度アラーム設定時刻を確認して、設定し直してください。
「メモリー残量がありません」（NO MEMORY SPACE）	“メモリースティック”の容量がいっぱいです。録音した用件を消去するか、新しい“メモリースティック”を挿入してください。 音声データ以外のデータが記録されている場合は、記録した機器で消去してください。
「用件がありません」（NO MESSAGE）	選んだ用件フォルダには用件が１件も録音されていません。用件が録音されていないと、アラーム設定などの操作はできません。
「時刻設定をして下さい」（PLEASE SET DATE & TIME）	時計合わせをしていないと、アラーム設定はできません。12ページの手順で設定してください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではICレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。
- 型名：ICD-MS1
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日

主な仕様

録音方式 メモリースティック使用
モノラル録音

最大録音時間 SP：約63分
LP：約131分
付属のメモリースティック（16MB）使用時

周波数特性 SP：240〜4,800Hz
LP：240〜3,200Hz

スピーカー 直径　36mm

入・出力端子 イヤホン（ミニジャック／モノラル）出力
　負荷インピーダンス　8〜300Ω
マイク（ミニジャック／モノラル）入力
　プラグインパワー対応
　最小入力レベル 0.5mV

再生スピード調節 LPモード時：
FAST ＋30%、SLOW –15%
SPモード時：
FAST ＋20% 、SLOW –15%

実用最大出力 200mW

電源 DC 3V　単4形アルカリ乾電池2本使用

最大外形寸法 約44.2×108.9×17.5mm
（幅／高さ／奥行き）
最大突起部含まず

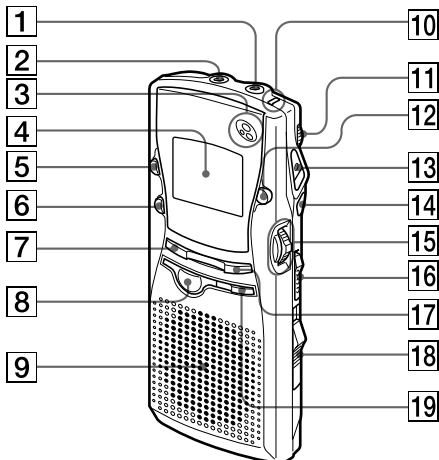
質量 88g（アルカリ乾電池LR03 2本、“ メモリースティック ”含む）

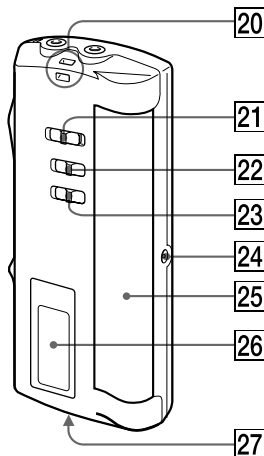
付属品 メモリースティック（16MB）
MSA-16A（1）
ソニーアルカリ乾電池LR03（2）
キャリングケース（1）
パソコン用アプリケーションソフト
「Memory Stick Voice Editor」
（CD-ROM）（1）
取扱説明書（1）
「Memory Stick Voice Editor」
取扱説明書（1）
保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）
カスタマーご登録はがき（1）
カスタマーご登録のお願い（1）

別売アクセサリー モノラルイヤーレシーバー MDR-E123
ステレオイヤーレシーバー
MDR-E838LP、MDR-E837LP
アクティブスピーカー SRS-28M
エレクトレットコンデンサーマイクロホン
ECM-T15
接続コード RK-G64
ACアダプター（3V用）AC-E30L
メモリースティック
MSA-4A（4MB）、MSA-8A（8MB）、
MSA-16A（16MB）MSA-32A（32MB）
MSA-64A（64MB）

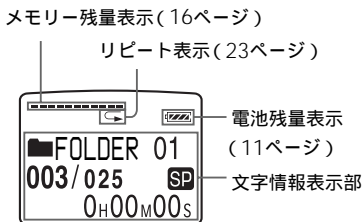
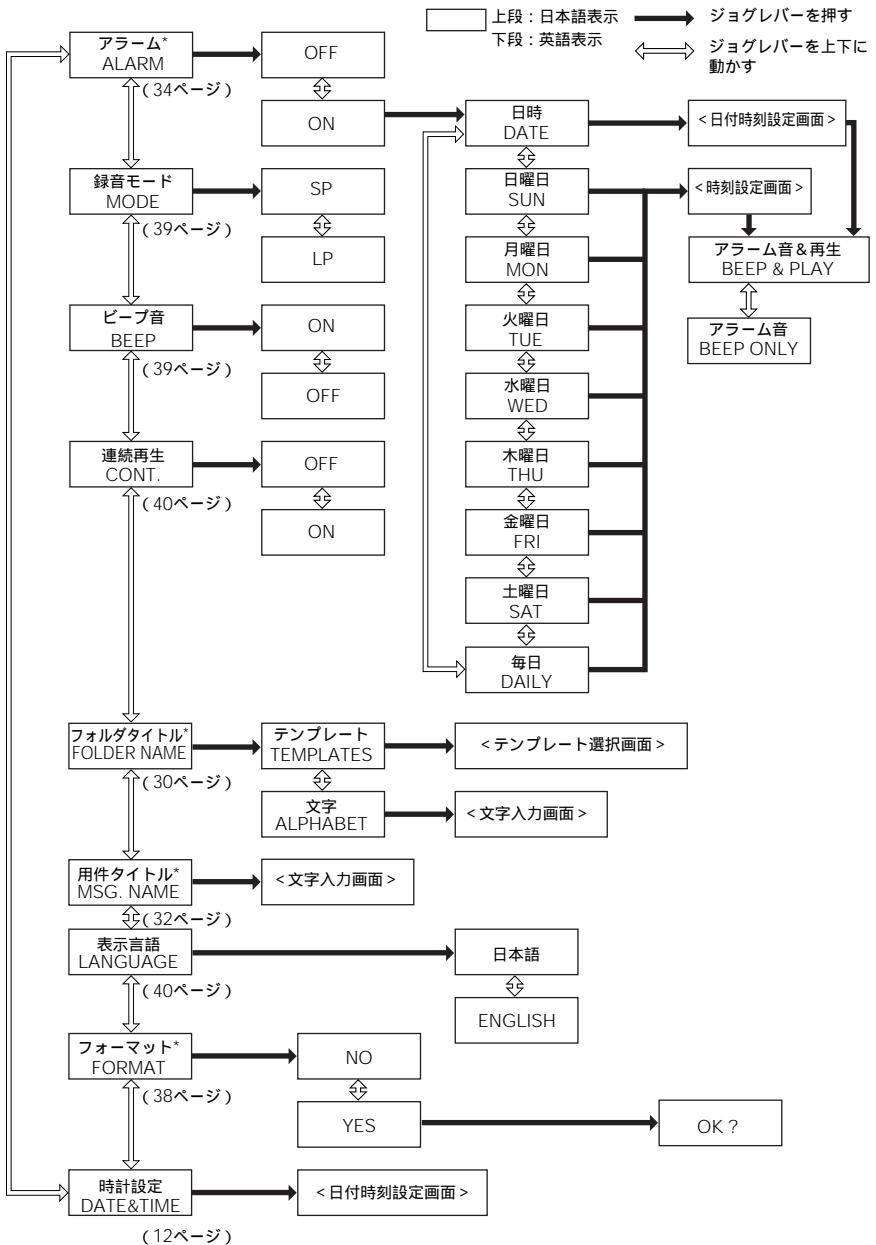
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

各部のなまえ

（表面）

1 マイクジャック（☞41ページ）
2 ◎（イヤホン）ジャック（☞ 15、18ページ）
3 内蔵マイク（☞14ページ）
4 表示窓（☞ 37、46ページ）
5 インデックスボタン（☞25〜26ページ）
6 フォルダボタン（☞ 14、17、21、27、28ページ）
7 表示ボタン（☞37ページ）
8 停止ボタン（☞ 15、18ページ）
9 スピーカー
10 録／再ランプ（☞ 14〜15、18〜19、24ページ）
11 音量つまみ（☞18ページ）
12 A-Bリピート／重要マークボタン（☞ 23、29ページ）
13 ●録音／停止ボタン（☞14〜15、24ページ）
14 ❚❚（一時停止）ボタン（☞ 15、18ページ）
15 ジョグレバー（☞ 12、17ページ）
► ■（再生／停止）、決定
⏮ ⏭（早戻し・早送り）
◄► （選択）
16 ホールドスイッチ （☞36ページ）
17 メニュー ボタン（☞ 12、30、34、38〜40ページ）
18 取出し（“メモリースティック”取り出し）つまみ（☞13ページ）
19 消去ボタン（☞ 20、26、27ページ）

（裏面）

20 ハンドストラップ取り付け部（ハンドストラップは付属していません）
21 再生スピード切り換えスイッチ（☞22ページ）
22 マイク感度切り換えスイッチ（☞15ページ）
23 VOR切り換えスイッチ（☞16ページ）
24 DC IN 3Vジャック（☞41ページ）
25 電池ぶた（☞11ページ）
26 メモリースティック確認窓
27 メモリースティック挿入口（☞13ページ）

（表示窓）

その他

メニュー一覧

* “メモリースティック”が入っていない場合は、「アラーム(ALARM)」、「フォルダタイトル(FOLDER NAME)」、「用件タイトル(MSG. NAME)」、「フォーマット(FORMAT)」は表示されません。

索引

五十音順

ア行

アクセス中　13
アラーム再生　34
一語戻し・送り　19
一件リピート再生　23
インデックス（削除）　26
インデックス（追加）　25
上書き録音　24
エラー表示　46
音量調節　18

カ行

外部マイク　41
カウンター表示　37
確認音（ビープ音）　39
家庭用電源　41
乾電池　11
キュー　19
高速早送り・早戻し　19
誤操作防止　36
コンセント　41

サ行

再生（用件）　17
再生スピード調節　22
削除（インデックス）　26
削除（フォルダ）　27
重要マーク　29
消去（用件）　20
初期化（フォーマット）　38
スキャン再生　22
接続（外部マイク）　41

タ行

追加録音　24
デジタルVOR　16
電池　11
時計合わせ　12

ナ行

内蔵マイク　14
残り時間表示　37

ハ行

早送り・早戻し　19
ビープ音（確認音）　39
表示言語　40
表示窓　37、49
フォーマット（初期化）　38
フォルダ（削除）　27
フォルダタイトル　30
フォルダ（追加）　27
プラグインパワー　41
ホールド機能　36

マ行

マイク（外部）の接続　41
マイク感度　15
マイク（内蔵）　14
メニュー　12、30、34、38～40、50
メモリー残量表示　16、49

ヤ行

優先順位　30
用件タイトル　32
用件の移動　28
用件の再生　17
用件の消去　20
用件の録音　14
用件番号　14

ラ行

レビュー　16、19
連続再生　40
録音（上書き）　24
録音（追加）　24
録音（用件）　14
録音モード　39

アルファベット順

A-Bリピート　23
ACパワーアダプター　41
FATフォーマット　9
Memory Stick Voice Editor　9、30
LPモード　39
SPモード　39
VOR　16

その他

お問い合わせ窓口のご案内

ポータブルオーディオ・カスタマーサポート

パソコン対応ICレコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。

http://www.sony.co.jp/support-pa/

テクニカルインフォメーションセンター

お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記までお問い合わせください。

電話：048-794-5194

受付時間：月～金　午前9時から午後5時まで

（祝日、年末年始、弊社休日を除く）

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：ICD-MS1
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日
- ご使用のパソコンの環境
  - ご使用のパソコンの機種名
  - メモリー容量
  - ハードディスクなどの容量

ソニー株式会社

〒141-0001 **東京都品川区北品川**6-7-35

Sony online　http://www.world.sony.com/

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

Printed in Japan

この説明書は再生紙を使用しています。